

# 計量の国際的潮流を北九州から発信

## — International Conference of Weighing (ICW) 6月開催 —

### 九州の計量関係者を招待する公開講座も開催



北九州国際会議場 (福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目9-30)

2026年6月8日(月)から10日(水)までの3日間、北九州国際会議場(福岡県北九州市)において、国際会議 International Conference of Weighing (ICW) が開催される。ICWは、各国の最新研究成果や技術動向を共有する場であると同時に、計量の信頼性や将来課題について活発な意見交換を通じて国際的な交流が行われる場でもある。

ICWは、ヨーロッパ、中国、オーストラリア、アメリカ、ブラジル、アルゼンチン、韓国の工業会、計工連、さらに国際

計量計測の未来を議論する ICW  
3日間にわたって開催される ICW は、基調講演を含む全体講演、法定計量・応用計量・科学計量のバラレルセッション、ポスターセッション、公開講座、ウェルカムレセプション、ガラディナー、テクニカルツアーなど、多彩なプログラムで構成されている。

6月8日(月)の全体講演では、国際連合大学 (次ページに続く)



法定計量機関(OIML)および国際度量衡局(BIPM)が運営委員として参画し、最新の計量計測に関する情報共有、業界のプレゼンス向上、グローバルネットワークの構築を目的としている。

第1回は2023年にドイツ・ハンブルクで「デジタル化」をテーマに開催され、25か国から230名の製造事業者、研究者、技術者、ユーザーや国際機関から関係者が参加した。北九州開催は、第2回 ICW となる。



**計測と科学**  
毎月第2・第4日曜日発行  
株式会社  
計量計測データベース  
東京都江東区亀戸7丁目62-16  
〒136-0071 TEL 03-5628-7070  
FAX 03-5628-7071  
https://www.keiryou-keisoku.co.jp/  
購読料年間 28,600円(消費税込み)

定量計量専用機  
**Pack NAVI**  
速くハカル、  
楽にツメル  
  
**Yamato**  
大和製衡株式会社 tel:078-918-6577  
http://www.yamato-scale.co.jp/

3530号を3月8日  
付で発行します。

**今週の主な記事**

国際会議 International Conference of Weighing (ICW) 開催 ①②③④面

産総研 NMIJ 2025年度計量標準総合センター オープンデー開催 ①⑥⑦面

スイス連邦 METAS が精度保証する機械式時計の新基準「マスタークロノメーター」 ⑤面

株式会社オーバル/株式会社タニタ 官像制度と計量の世界(21) ⑧面

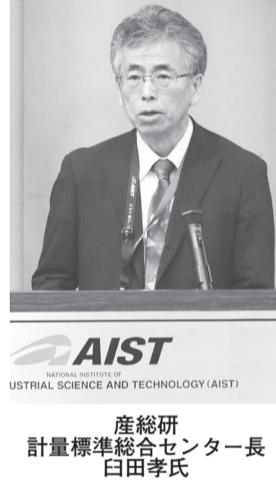
社説 ⑨⑩⑪面

2025年度第2回国計連開催 ⑫面

産総研計量標準総合センター(NMIJ)は、これまで「成果発表会」を開催し、計量標準分野の最新成果を広く紹介してきたが、今年は構成を見直し、新たに「計量標準総合センター オープンデー」として開催した。

従来の2日間開催から1日へと集約し、より充実した内容で届ける。研究者による「研究トピックス講演」に加え、実際の計測設備や実験環境を見ることが出来る「ラボ見学」を通して、社会や産業界を支える計量標準研究の現場を体感できる。今回のリニューアルでは、研究内容や取り組みをこれまで以上に分かりやすく発信し、産業界をはじめ、外部の人との対話や連携の機会を広げることを目指した。NMIJの研究がどのように企業の技術課題解決やイノベーション創出に貢献できるのかを理解するため、により「開かれたイベント」となった。

(9ページに続く)



**産総研 NMIJ**  
2025年度  
計量標準総合センター オープンデー



**NEW** 分析天びん  
Advanced Performance UniBloc Balances

## AP W-AD ex Series & AP ex Series



**AP225W-AD ex**  
オートドア・タッチレスセンサ・イオナイザ搭載

**AP135W ex**

**正確な計量は 新たなレベルへ!**  
最小計量値の大幅向上で正確な計量をサポート

- 01** クラストップレベルの最小計量値を実現  
薬局方が求める最小計量値を 13 mg\* (従来比 35% 小量化)、クラストップレベルの性能を発揮します。
- 02** 快適な計量をサポート  
各種ガラス容器の保持に便利なスマートホルダを標準付属。

\* 日本薬局方 JP 9.62、米薬局方 USP 41、欧州薬局方 Ph. Eur. 2.1.7 準拠。当社工場にてひょう量の約 5% の分銅を用いた試験で満たされる値です。最小計量値は据付環境に影響されるため、実際の使用環境にて測定する必要があります。

